

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		中心市街地活性化支援事業		A 一般事務事業	
担当部署名		産業振興 局 商工労働 部 商業流通 課		シート番号	
		評価責任者(課長名)		15-12	
				辻尾	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	まちの魅力向上につながる商業機能の充実	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	中心市街地活性化法等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン、堺市中心市街地活性化基本計画			
5	事業実施の経緯	平成27年3月に認定を受けた堺市中心市街地活性化基本計画に基づき、地域の関係者が主体となって、中心市街地のまちづくり及び賑わい創出のための事業を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	中心市街地活性化協議会(事業者・企業・地域住民)関係者、市民及び来街者。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	中心市街地において、商店街等の主体的なまちづくり事業を促し、魅力ある商業地の形成、回遊性の向上、賑わいの創出等、商店街の活性化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	中心市街地活性化協議会や意欲ある事業者等が、自主的、主体的に取り組む放置自転車対策、バル事業等の各種事業の支援を行なう。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		中心市街地活性化協議会等				

Ⅲ. 投入量

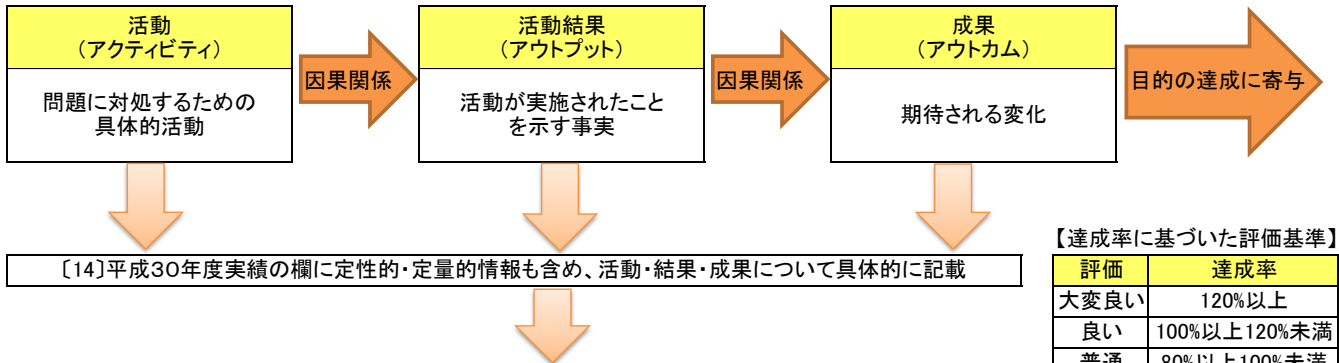
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	4,507	4,187	6,290	23,825	
	主な事業費内訳	中心市街地まちづくり支援事業	千円	4,261	3,882	6,004	8,000
		中心市街地まちなか集客力向上事業	千円	-	-	-	15,350
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	4,507	4,187	6,290	23,825
	12 人件費 (b)	千円	5,740	5,740	5,822	7,614	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,247	9,927	12,112	31,439	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	中心市街地活性化支援事業	シート番号	15-12
-------	--------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>14 中心市街地活性化協議会を通じて、商店街内の放置自転車対策や、イルミネーション事業、バル事業等のプロジェクトチーム会議が開催されており、それらの活動支援を実施。 自転車プロジェクトチームの商店街見回り活動(自転車マナーアップキャンペーン)や、イルミネーション事業、バル事業等の実施回数を重ねるにつれて、それぞれの活動の認知度も高くなり、地域のイメージアップと賑わいを創出するとともに、地元商店街及び企業団体、多様な関係者等が連携する機会が増えた。</p>							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		〈堺東地区〉 歩行者通行量(休日)	人	目標値	4,804	4,908	5,012	5,116
				実績値	4,609	4,727	3,947	
				達成率	96%	96%	79%	
	評価	普通	普通	少し悪い				
	算出方法・設定根拠など		堺銀座商店街東入口の通行量<H21実績:4,077人⇒H27目標:4,700人(15%増)…104人/年増>					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		〈山之口地区〉 歩行者通行量(平日)	人	目標値	3,219	3,288	3,357	3,426
				実績値	2,911	2,916	1,899	
				達成率	90%	89%	57%	
	評価	普通	普通	悪い				
	算出方法・設定根拠など		開口神社西側の通行量<H21実績:2,735人⇒H27目標:3,150人(15%増)…69人/年増>					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>本事業は、中心市街地にある商店街等の主体的・積極的な取組みを支援している。事業実施に当たっては、各種プロジェクトチーム会議が開催されており、「自転車マナーアップキャンペーン」や「ガシバル」、「イルミネーション事業」など、様々な取組みが積極的になされているが、歩行者通行量は、目標値を下回る結果となった。 歩行者通行量は、調査当日の天候の影響を少なからず受けていると考えられるが、堺東地区については、ジョルノビルの建て替え、山之口地区については、店舗数の減少などが影響していると考えられる。 今後は、フェニーチェ堺のグランドオープンや、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録等を見据え、それらの経済効果を取り込む事業を実施し、賑わい創出に取り組んで行く。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。